

モンゴル経済トピック（2009年4月）

今月の主なトピック

- モンゴルの貧困層は全人口の35.2%、約93万人（経済）
- 2009年第1四半期の貿易収支は7,160万米ドルの赤字（経済）
- IMF理事会、モンゴルへの融資プログラムを正式承認（経済協力）

詳細は各項目を参照

1. 経済

- 世界銀行の支援の下、国家統計委員会が家庭経済調査を実施したところ、モンゴルでは全人口の35.2%、約93万人が貧困であるという結果が出た。貧困率を地域別で見ると、ウランバートル市が最も低く5.1%、中部地域が約30%、その他の地域では約50%となっている。（ZM2）
- 2日、D.デンベレル国家大会議議長とアイヴァンホー・マインズ（IM）社の社長らによる会談が行われた。同会談でデンベレル議長は、モンゴル側の投資資金を投資家が融資することに関して金利の引下げを要請するとともに、ロイヤルティーの適用条件緩和の検討を求めた。これに対してIM社側は「契約内容の変更は難しい。またモンゴル側の投資資金の融資は投資家側が出すものであって、モンゴルにとって何らリスクはない。近く契約が議会で承認され、財源が確保できるのであれば、今夏にも鉱床開発を開始できる。」と述べた。（UN3）
- 9日、金融規制委員会及び金融経済大学などにより開催された「モンゴルにおけるコーポレート・ガバナンス」と題するフォーラムで、コーポレート・ガバナンス・センターの設立が決定された。同センターでは、経営者や取締役を対象としたセミナー開催などの活動を行うことを予定している。（UN10）
- 国家統計委員会の発表によると、2009年第1四半期の国家財政収支は1,069億トグログの赤字であることが分かった。また貿易収支は7,160万米ドルの赤字となった。先月の消費者物価指数は、前月比1.8%、前年同期比16.3%の増加であった。（ZM14）
- 国際原子力機関（IAEA）はモンゴルに対し、今後3年間で計180万米ドルの技術協力を実施することとなった。2009年は180万のうち90万米ドルが供与される。（ZM17）
- 中国を訪問中のバヤル首相は、温家宝首相と会談を行い、以下の書類に署名した。
 - ・ 「鉱物資源及びエネルギー分野における政府間協力取極締結に関するモンゴル鉱物資源・エネルギー省と中国開発改革委員会間の議定書」

- ・ 「モンゴル大蔵省と中国開発銀行公司間の金融事業協力における一般協定」
 - ・ 「食品輸出入時の安全協力に関するモンゴル食糧・農牧業・軽工業省と中国国家品質監督検査検疫総局間の協定」
(ZM20)
- 国家統計委員会の調査によると、3月末の時点で各県及びウランバートル市の労働・社会福祉サービス課に登録されている失業者数は3万4,700人となり、前年同期比に比べ12.7%増加したことが判明した。(UN22)

2. 経済協力

- 2日、国際通貨基金（IMF）理事会は、モンゴル経済安定化計画支援のための2億2,920万米ドルの融資プログラムを正式に承認した。モンゴルは第一段階として融資総額のうち、7,640万米ドルを受け取ることが可能である。残額は、各四半期毎の調査結果を基に、段階的に供与される。(UN3)
- 2007-2011年にかけて国連人口基金と保健省が共同実施している地域のモデル病院建設計画の一環として、西部5県の11の病院にそれぞれ、40種類以上、4千万トログログ相当の最新産婦人科用医療器具が供与された。(UN4)
- 7日、バヤルツォグト大蔵大臣とフィッシャー在モンゴルドイツ大使が900万ユーロの借款契約に署名した。ドイツ政府は昨年モンゴルへの計2億3,700万ユーロの借款及び無償資金協力を決定している。今回の借款は、ウランバートル市とその食料供給地であるバトスンベル郡など3郡を結ぶ道路の改修及び同市のヤールマク地域に建設予定の住宅団地計画の費用に充てられる。(ZM8)
- 中国政府は、モンゴルに対する借款の条件を双方の代表者の協議結果に基づき、供与金額150万米ドル、償還期間10年以上とする決定を下したことを、中国訪問中のエンフボルド副首相に伝えた。(ZM15)
- 世界銀行、EU及び日本政府の協力の下、第2次持続的生活安定プロジェクトが全国で開始された。同プロジェクトは、総額5,500万米ドルの資金から一定額を、主に貧困対策計画の実施や起業を目指す団体を資金面で援助することを目的に貸し付けるもので、月々の金利1.5-2.5%、返済期間半年から1年という条件である。今年は約1,000件の案件に融資を行う予定である。(SH23)

3. 金融

(特記事項なし。)

4. 貿易等

(特記事項なし。)

5. インフラ

(特記事項なし。)

6. エネルギー

- ドルノド県ゴルバンボラク・ウラン鉱床の探査権を 100%保有するカナダのウェスタン・プロスペクター社は、3月24日から自社の探査権の75%を中国核工業集团公司に売却する協議を同会社と開始した。現在、一株あたり0.56カナダセント、総額3,100万カナダドルという条件で最終的な協議に入っているとのことである。(UN7)
- モンゴル産業社はドイツのティッセンクルップ社とコークス工場建設への技術提供契約を結んだ。同工場はゴビスンベル県のチョイルに建設される予定であり、モンゴル南部の石炭鉱床から採掘されるコークス用原料炭の利用を見込んでいる。(UN9)

7. 教育

(特記事項なし。)

8. 農牧業

(特記事項なし。)

9. 保健医療

(特記事項なし。)

10. 環境

(特記事項なし。)

11. 情報通信

(特記事項なし。)

※括弧の中の記号は新聞名と日付を表す。

(US ウドゥリーン・ソニン紙、ZM ゴーニー・メデー紙、UN ウヌードゥル紙、MM モンゴリン・メデー紙、TR ウネン紙、AE アルディン・エルフ紙、SH ウンデスニー・ショーダン紙)

(了)